

# 令和4年度中予地方局予算事業成果表

## 1 基本事項

- (1)事業名 林業ICT活用人材育成事業費  
(2)事業期間 令和4年度～令和6年度  
(3)所管 農林水産振興部 森林林業課  
(4)予算額 1,129千円

## 2 事業目的

スマート林業を進めるためには、伐採や造林の現場においても、ICTなどの高度な知識を持った林業従事者の育成・確保が重要である。

そこで、ICTの活用に関心があり、かつ、森林の管理にも興味のある大学生等を林業関連企業等の人材として確保・育成していくため、林業バスツアーや就業説明会、インターンシップを実施することで、DXなど林業イノベーションにも即応できる技術を持ち、林業経営のできる担い手を確保し、地域林業の活性化と適正な経営管理の推進を目指す。

## 3 主な取組（何をしたか）

### (1) 見て知る「まるごと林業バスツアー」の開催

大学生及び高校生を対象に、林業関連の現場（伐採現場、森林調査機関、木材市場、木材販売、製材工場等）をバスで案内し、体験、見学等(図1)を通じて、林業への理解を深めた。



図1 まるごと林業バスツアー

### (2) 話して聞いて知る「林業就業説明会」の開催

高校生を対象に、管内林業事業体8社の就業説明会を開催(図2)し、意見交換を通じて、林業事業体の魅力発見に寄与した。



図2 林業就業説明会

### (3) 触れて体で知る「林業後継者インターンシップ」

愛媛大学の学生を対象に、林業ICTを活用している森林組合で、ICT技術を活用した測量等を実習(図3)し、スマート林業の確立の可能性を体験した。



図3 林業後継者インターンシップ

## 4 成果（何がどう変わったか）

- 林業関連の仕事やICTの技術を知ってもらい、スマート林業への興味付けができた。
- 令和5年4月、管内林業事業体へ2名が就職した。